



JARL香川

平成30年2月15日発行
発行 J A R L 香川県支部
<http://www.jarl.com/kagawa/>

第54号

発行者 支部長 森國幹夫 JA5ARW
編集者 大西安輝 JA5HNZ
平賀正明 JA5TOP 詫間 哲 JA5UVT
渡辺庄平 JH5GTO 岡崎正和 JG5EQV
横山浩二 JJ5JTF 森國愛子 JF5UTH

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 香川県支部報



▲ハムフェスティバル in 香川 (平成29年3月20日) 講演



▲同左 会場内



▲同上 各種コンテスト表彰



▲製作技術講習会 (平成29年9月10日)

☆ハムフェスティバル in 香川のご案内☆

JARL香川県支部では『ハムフェスティバル in 香川』を下記のとおり開催します。年に一度の県内ハムの祭典です。ローカル各局お問い合わせの上、多くの方がご来場されますようご案内申し上げます。

記

日時 平成30年3月18日(日)
13時より16時まで(受付:11時~13時半)
会場 アイレックス(丸亀市綾歌総合文化会館)
丸亀市綾歌町栗熊西1680 電話 0877-86-6800
催物 ・メーカー展示・ジャンク市・クラブ紹介等のブース
・FT8運用(四国レジャーハムクラブ)
出展者はJR5KPV 090-7578-6234 窪田迄事前連絡の事
・自作品展示(当日会場までご持参ください)
報告 行事及び会計報告・監査指導概況

講演 ・JG1KTC 高尾 義則 会長
・JARD 免許等のスプリアス経過措置
期限到来後の手続き

- ★各種コンテスト表彰
- ★子供さん お楽しみ抽選会(小学生以下対象)
- ★お楽しみ抽選会

四国総合通信局 電子申請体験ブース開設!

『その場でアマチュア無線局のユーザ登録・再免許が電子申請できます』

ユーザ登録に必要なもの

- ・無線従事者免許証、無線局免許状(現在アマチュア局を開設されている方のみ)、メールアドレス

再免許申請に必要なもの

- ・無線従事者免許証、無線局免許状、ユーザID通知書

★ アマチュア無線との出会い ★

J I 5 X T P 坂内 信洋

≈アマチュア無線との出会い≈

コマーシャルをリタイヤした後の人生の過ごし方・・・。
ふとこんな考えを持った頃、車窓から見えるアマチュア無線家の大きな YAGI アンテナが目に入った。アマチュア無線の知識は多少有ったが運用方法は知らない。そんな時は聴くべしと大きな YAGI アンテナを見つけては飛び入りでお邪魔をしてアンテナや無線機器を拝見した。各局長さんの話を聞いて、アマチュア無線を第二の人生に活かそうと思った。だがこの趣味は国家試験に合格して免許を得なければならない。すぐ本屋でアマチュア無線の本を購入、受験までの流れを勉強した。工学はある程度理解できたので2アマからの受験を選択した。2アマからはモールス受信の実技が必須なので、3ヵ月をかけてモールス符号を覚えた。覚えた後はハムショップで第1級アマチュア無線技士用モールステーブを購入し毎晩聴いた。受験を思いつてから6ヵ月後に愛媛県で受験し合格した。

≈人との出会い≈

アマチュア無線技士の免許を習得すると中央公園横のハムショップに出向き無線機(IC-756PR0)と6バンドグラウンドプレーンアンテナ(CP-6)を購入して毎日ワッチした。なかなか電波が出せず悩んでいた時、偶然ハムショップで隣にいた人が「この日曜日に国分寺町でアマチュア無線の初心者講習会があるで」と教えてくれた。

受講申込はしていなかったが講習会会場に行き、これまでの経緯を話すと快く受け入れてくれ、アマチュア無線の運用の仕方、アマチュア無線を使った競技、「ARDF」についても教えてもらった。以前、飛び込みでお邪魔をした近くのアマチュア無線家の方が仕事の休みの時に測定器を持って自宅に来てくれ、アンテナのSWR測定をしてもらい調整して電波が出せるようになった。

SSBの交信にも馴れ、そろそろCW交信をしようとコマーシャルで知り合ったアマチュア無線家と丸亀の京極ハムクラブに出向きCWの送信技術を教わった。

京極ハムクラブ・JARL香川クラブ・ARDF香川の活動を通じて大勢の人と出会い大勢の人の力を借りて、第1級アマチュア無線技士の取得や1kWの落成検査等もクリアすることができた。そしてアマチュア局の定義「**金銭上の利益のためでなく、専ら個人的な無線技術の興味によって自己訓練、通信及び技術的研究の業務を行う無線局**」に近づいた。

≈移動運用との出会い≈

CW交信によって無線運用の幅が広がった。2005年の香川マラソンコンテストにはじまりJARL主催のコンテスト、各県支部開催のコンテストなどに参加しコンテストに入賞した時は心の底から喜んだ。

ある晩3.5MHzで広島の局長さん(ログの管理ソフト「ハムログ」)の導入を教えてくれた局)とラグチュウをしていた時、「明日から移動しますよ」とのコメント。思わず「どこに転勤するんですか」と問い返すと「いやいや、山に登っ

て無線運用するんですよ」と返事があった。免許取得から6年目で移動運用を知った。

CWのラバースタンプ交信、暗記受信が出来ない和文交信にも陰りが出て来た頃の一筋の光。移動運用を知ると移動用無線機(IC-7000M)、アンテナチューナを購入して移動局の免許を得た。県内のJCC、JCGなどを移動しながら移動運用の楽しさ、特にパイルアップの醍醐味を楽しんだ。

≈道の駅との出会い≈

目的無しに各地を移動するよりは目的を決めての移動が長続きするのではないかと思っていた時、無線雑誌CQ誌に「色々なアワード」が付録に付いていた。

目にとまった「ハムのための道の駅」冊子には住所・電話番号・営業日及び定休日が記載されており、スケジュール作りに役立つのと電話番号で簡単に車のナビに登録ができる。そんな単純な考えでリタイヤ後の人生は「道の駅で移動運用をしながら日本一周」と決めた。

現在、全国に道の駅が1,134駅あり、2年6ヵ月で629駅を訪問した。全国制覇までまだまだ長い道のりだが、人との出会い風景との出会いを楽しみながら車のハンドルと無線機のパドルを握りしめ走ろう。

≈道の駅移動運用≈

1. スケジュールの作成

スケジュールの作成には「ハムのための道の駅ガイド」とJAFが発刊している「JAFドライブMAP」を参考にした。「JAFドライブMAP」は四国地方・九州地方・近畿地方など地域ごとに発刊されており、すべての道の駅が網羅されている。

訪問地が決まればその地域のMAPを開き、出発地から最初の訪問駅、次の駅などを決めると同時にWEBの「ルート検索」で距離、所要時間を割り出して日程を決める。

また各道の駅の営業時間・定休日・駐車台数も調べる。営業時間・定休日調べは「道の駅アワード」で道の駅で交信した局に発行するQSLカードに道の駅スタンプを押印しなければならないので、営業時間内に交信を終わらなければならない。駐車台数は駐車場が狭ければ日曜・祭日に訪問した時、駐車場が満車で無線運用が出来ない時があるので、作成時には日曜・祭日を避けるようスケジュールを組む。

2. 運用スタイル

改造した車の運転席の後部にW800×D600×H500の机を取り付けシャックにしている。



最初は高さ 400mm の机に座布団に座って運用していたが、長時間運用になると足が痺れエコノミー症候群になる可能性があるため、現在は高さ 500mm にして座椅子に座り運用している。

無線機の電源には発電機を使用しているが、夜間や早朝時は発電機の騒音値が高いので隣接して駐車している人に迷惑がかかる。そこで消音ボックスを作り騒音値が70dBから50dBに押さえられたので安心して運用が出来るようになった。



3. 無線設備

無線設備は無線機 IC-7100M(予備機 IC-7000M)、AC-DC コンバータ、アンテナチューナ AH-4、パドルを装備している。



道の駅では1駐車スペースでの運用を心がけているのでアンテナは1.9MHz、3.5MHz、7MHzの垂直アンテナ(ベースローディング、センターローディング)と各周波数用コイルを取替えると7MHzから50MHzまでを運用できるV・DPアンテナ、10.5mのロングワイヤーなどコンパクトにして駐車スペースからはみ出さない様に心がける。

また海岸沿いで運用する時は風が強くと7mの釣り竿アンテナが風にあおられ、ひどい時は30度位傾くのでアンテナの取付部は車のキャリア部を改造して4方向にステンレスワイヤーでステーを張り補強をした。

新潟に移動した折、近くのOMさんの訪問を受け自宅に招かれ食事をごちそうになり無線談義。別れる時、SSBでの交信を依頼されたがアンテナはCW周波数に調整しているから難しいとやんわりお断りした。

北陸での運用が終わり自宅に帰ると新潟のOMさんから小包が届いていた。開いてみると7.0MHzから7.2MHz迄の広帯域の釣り竿アンテナが入っており、次回からのSSB運用を促すメモが入っていた。そして沖縄に移動した時は滝アワード(FA)、境界アワード(BR)でのSSB交信依頼のメールが届いた。やっぱり「タダより高いものなし」だった。

★ 讃岐うそどりハムクラブ ★

J A 5 Z N O

讃岐うそどりハムクラブは名前の通り綾川町「滝宮天満宮」で毎年4月に行われる「うそかえ神事」にちなんで名付けられています。

当クラブは30年ほど前に結成されましたが長らく休眠状態だったところ、ローカル各局でのミーティングを重ね有志各局で3年ほど前に再開局の運びとなりました。

現在、香川県全域で25名のクラブ員を有し今回、再度JARLの登録クラブに仲間入りしました。

普段は2mでのラグチュー中心ですがコンテストの参加、他のクラブ員との交流(飲み会?)、ローカル局のアンテナ設置等様々な活動をしています。

最近の関心事はD-STARの運用です。各局常置場所にアクセスポイントを設置し日々実験を行っております。

又、メンバー各局が「上級資格」を取得し第二の人生で「アマチュア無線」を楽しんでいます。

懇親会ではクラブ員以外の方にも大勢お声掛けしています。今後ともよろしくお祈りします。



★ F T 8 に 出 ませ ん か ★

DXクラスターに昨夏頃よりFT8を見かけるようになり、気になり調べるとJT65を引継いだ新しいモードだと分かりました。

トランシーバーの音声入出力端子にゲイン調整用のVRを付けてPCのMICとSPジャックのそれぞれに接続しWSJT-Xのソフトを<http://jt65-dx.com/>よりダウンロードしてUSBモードでいよいよ受信開始です。操作方法等はWebで発表されているのでご覧ください。

コンディションボトム期の冬場の7MHzでは夕暮れから夜間にかけて海外局が多数レコードされています。

送信するには電波型式F1Dの申請(届)が必要ですが、申請(届)方法についてはWebで調べるかCQ誌2017年11月号に詳しく掲載されています。

7MHzのDXCCは現在50ですが100を目指しています。

編集子

★ 香川大学アマチュア無線クラブ ★

J R 5 Y E V 福田 智和(JI1XMR)

今年度より JARL 香川県支部に登録させていただきました香川大学アマチュア無線クラブについて紹介をさせていただきます。当クラブは高松市林町の工学部キャンパスのメンバーを中心に昨年度設立したクラブです。

旧無線通信研究会は現在、人工衛星開発研究会として活動されています。我々のクラブはアマチュア無線通信を純粋に楽しもうという目的で創設されました。

当クラブが活動している林町キャンパスは旧高松空港跡地に立地しており、東西南北見通しに優れています。そこで、屋上に設置している各種アンテナを有効活用しようと考え、クラブ局として開局しました。

メンバーについては教員・学生を始め OB の方などから構成されており、現在 12 名が在籍・活動しています。

今年度の活動としては ALL JA コンテストやオール JA5 コンテストへの参加などを中心に活動しました。加えて、電子情報通信学会創立 100 周年記念 JARL 特別局のオペレートをしました。

また、持続的な取り組みとして香川大学学生防災士クラブ(以下防災士クラブ)との連携を行い、防災時の無線機利用に関する合同勉強会を実施するなどを行いました。

当クラブでは主としてキャンパス内から CW/SSB モードで運用していますが移動運用も検討しています。

また、自転車や登山などにアクティブな構成員は個人局でも 144/430 MHz で活発にオンエアしています。興味のある学生を対象に免許取得の支援なども行なっていきたいと考えております。地方における若いハム愛好家の育成にもつながればと考えております。

今後の活動として、定期コンテストへの参加のほか、



防災士クラブとの連携を強化し、防災関係活動にも積極的に取り組んでいこうと考えております。香川大学では前述の防災士クラブが林町・幸町両キャンパス間通信用にデジタル簡易特小無線局を導入しています。しかし、災害発生時はキャンパス間の連絡に加えて地域内における通信が重要になってくると考えております。災害時のハムの有効性は皆様ご承知の通りです。

そこで将来的には、地域の皆様と連携した訓練なども行えればとも考えております。

最後になりましたが、支部活動なども喜んでお手伝いさせていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。

★ アマチュア無線と電波環境 ★

監査指導委員長 J A 5 H N Z 大西 安輝

新スプリアス規格改正に伴う経過処置が昨年 11 月末で終了しました。

平成 17 年 11 月以前に旧スプリアス規格により設計・製造された機器は JARD で新スプリアス規格に適合しているか確認を受ける必要があります。自作機の詳細は JARD 03-3910-7263 にたずねてください。

『改正後の無線設備規則第 7 条の基準(新スプリアス基準)に合致することの確認がとれていない無線設備の使用は、平成 34 年 11 月 30 日までに限る』等が無線局免許状の備考欄に記されます。

今お使いの機器の状態はどうでしょうか?「動作不良による近接障害の局があり、他の局が出てくるとバンド内にスプリアスが出ていて運用が困難になる」これはアマチュアバンド内に収まらず他の無線局の運用に障害を与える恐れがあり、指摘あれば直ちに運用を止めて対策を行ってください。

特に古い HF 機の真空管式の場合、真空管の劣化、出力パイマッパ回路の Q の低下によるフィルター性能の低下、出力 VC の接触不良なども考えられます。

高圧回路の絶縁不良で真空管の動作点移動による歪発生、使用しているコンデンサーの劣化による歪発生等もあると思います。

今一度送信機器の点検をよろしくお願いします。

★ 8 N 5 C L E A N 運用 ★

監査指導委員 J R 5 K P V 窪田 誠一

前監査指導委員長の J A 5 B C L 福岡さんが存命の頃、0 エリアで 8 N 0 C L E A N の運用が始まりました。うらやましく思い四国でも出来ませんかと福岡さんに相談しました。それ以来 8 N 5 C L E A N を運用してきました。

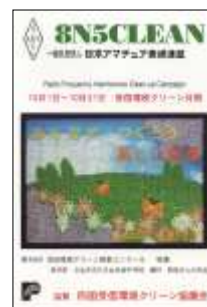
最近、他のエリアで短いコールサインが使われているのを知ると、そろそろ変更してみてもどうかと森田本部長にそれとなく(本当のところズブズブしく)お願いをしています。

2017 年は 1049 局の交信でした。老化の影響かパイルになった時に頭で覚えることのできる局数がめっきり減ってきました。CW は開き直りが得意になってきたせいも 40 代の時より楽になりました。

2018 年はもう少し局数をのばしたいと思います。

交信数 (2017. 10. 8~10. 26)

1 エリア	324	7 エリア	75
2 エリア	127	8 エリア	49
3 エリア	143	9 エリア	24
4 エリア	108	0 エリア	60
5 エリア	49	D X	13
6 エリア	77	合計	1049



★ 製作技術講習会 ★

J A 5 O J F 土肥 邦彦

製作技術講習会に子供(JJ5LEM)を参加させて頂きました。「今度の9/10の日曜は予定入れずに空けとけよ」と言う言葉に不満げだったのですが、講習会が終わって聞きましたところ「面白かった」そうです。

今回は Arduino UNO に装着しエレクトリックキーヤとして動作する大変面白い装置です。

開発者の中茂 OM(JG5CBR)の指導と言う事で、開発者自らお越し頂くと言う滅多にない講習会でした。

実は子供(兄)は現在小6ですが5年生の時に2アマを取得しただけでモルズなんて受信すらやったことないし、すっかり忘れています。妹(JJ5MVE)も資格だけでいわゆる「ペーパードライバーの無線版」です。

少しでも半田付けに慣れてもらうのと組み立てた装置が思った動作をする喜びを感じてもらえればと思い参加させました。幸い本人は小型の Arduino を使ってロボカップジュニア(サッカーロボ)にトライしているので、同様の開発環境を使っており、このあたりは問題なかったのですが半田付けが得意じゃありませんでした。



製作途中かなりトラブルはありました。予想はしていましたが、まずは抵抗値を間違えて半田してしまった事です。2は赤い人参、オレンジ3つ…と教えていたら「人参はオレンジ色だよ」との事。すかさず坂出名産の金時人参は「赤」と反論です。

さらにセラミックコンデンサーの値も違うのを取り付けていました。10の何乗ってまだ習ってないみたいです。子供にとってはデジタルテスターが必需品のようです。一度半田した部品を取り外すのが一番苦労した部分です。

動作確認をして頂き持ち帰り動かしてみると符号にあわせてLEDが点滅していないのを発見。テスターで電圧来てるか?確認させたのですが、いかんせんデジタルテスター。さっぱり解りません。先日組み立てた簡易オシロも必需品でした。LEDの逆接続を直して完成となりました。

モルズはアマチュア無線に残された唯一の通信手段。これから受け継いでいかなければならないと感じた次第です。今後、コントローラのマイコン(今回は Arduino)も

小型化・高速化・大容量化の方向に向かいますので、手打ち時の縦振り符号の「自分の癖」を解析、記憶しエレキーで縦振り風に誰が打ってるか?解かるような符号が出せるエレキーに発展できるかもしれません。

ハードウェアの制限はありますがソフトウェア次第で色々な機能の追加が出来る機器は機能アップさせる事が出来て楽しみです。

今までも自作機器の発表は色々あるのですが作ってみようと思っても困るのはパーツ集めです。秋葉原にすぐ買い出しに行ける環境ならいいのですが、ここ香川ではなかなか目的のパーツが無く一番ネックになる部分です。幸いネットで買い物できる環境にはなっていますが、複数の販売店に注文する事になり買い忘れも多く海外から取り寄せるパーツがあった場合は日数もかかります。これをキットと言う形で揃えて頂けるのは一番助かる部分で、お忙しい中ご指導頂いた中茂 OM には感謝致しますと共にこのような講習会を計画、実施頂いた JARL 香川県支部役員の方には大変お世話になりました。

子供達も大きくなったら今度は恩返しができる立場になってくれば良いと思います。

★ 2 アマ講習会を開講して ★

J R 5 K P V 窪田 誠一

2016年に続き2回目の集合形式講習会を開催しました。現在2アマ習得には国家試験、JARLのeラーニング、JARLの集合形式講習会があります。カリキュラムは法規が17時間・工学が29時間です。欠席・早退・遅刻で履修時間が不足した場合に9時間の補講があります。補講は対象でなくても終了試験対策として全員に受けてもらいました。

終了試験は補講の終了後実施されます。不幸にして不合格となった場合は3時間の補講で苦手なところを強化して、再度終了試験にチャレンジすることが出来ます。

講師陣の工夫ですが無線機を持ち込むのは当然、プロジェクトを駆使、HFの八木も搬入、3.5/7MHzのダイポールをひろげました。比嘉先生はホワイトボードにラミネートしたものをペタペタ貼り付け、板東先生は必殺の合格術を編み出し小数点を無視する計算法を展開して合格にド直球の勝負をかけました。大井先生は圧巻のアンテナと電波伝搬の説明でした。

2年間で貴重な経験と受講者とのさらなるネットワークを築くことが出来ました。

気づいたことは上級資格が欲しい人は山ほどいますが、2アマ講習会のことがほとんど伝わっていない。eラーニングでは理解できそうにないと思う人がいます。したがって楽しんで決して取れないと覚悟をしての受講で、授業には真剣に取り組んでいます。

最後にお世話になりました JARL の伊藤さん小松さんスタッフ、受講者の皆さんに感謝します。

再び開講の機会が訪れることを願っております。

★2017香川マラソンコンテスト結果発表★

2017年12月1日～12月15日

順位	コールサイン	氏名(団体名)	得点	日数
《社団局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JA5YDE	JARL香川クラブ	41,006	15
2	JH5YVC	高松オーリーブハムクラブ	11,289	15
3	JH5YRW/5	ニュースカイクラブ讃岐	2,176	15
4	JA5YOM	四国レジャーハムクラブ	320	6
《個人局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JH5LYW	三好伸幸	39,402	15
②	JI5XTP	坂内信洋	39,349	15
③	JA5CAU	平井一	26,558	15
4	JA5YR	大西喜夫	26,432	15
5	JA5PJ	大澤淳	16,720	11
6	JA5KF	大吉嘉壽憲	11,520	15
7	JJ5ASD	上村佳司	10,500	15
8	JG5WWD	比嘉久雄	8,526	15
9	JA5ARW	森國幹夫	7,260	15
10	JA5TOP	平賀正明	7,040	10
11	JA5EXN	吉田隆泰	1,364	10
12	JG5EQV	岡崎正和	744	10
13	JA5TNF	森岡隆之	588	14
14	JA5RYY	多田克之	504	8
15	JA5JGV	大塚隆二	330	13
16	JA5KZQ	大関健二	210	6
《個人局マルチバンド電信の部》				
①	JE5XIC/5	丸岡俊晴	4,590	15
《ニューカマーの部》				
①	JJ5ODI	三好陽介	924	8
②	JJ5NVN	造田湧也	364	9
③	JJ5LCK	岡崎仁美	176	2
④	JJ5NAE	向井瑛	2	1
《3.5MHz電信の部》				
①	JA5CBU	立花真一	192	9
《7MHz電話の部》				
①	JA5TFJ	横田壽夫	2,208	15
2	JA5CKS	井上高	4	1
《14MHz電信の部》				
①	JG5JXW	坂井進史	357	13
《14MHz電話の部》				
①	JA5AHM	天野英弘	289	13
2	JF5VSW	藤田きよし	96	1
《21MHz電信の部》				
①	JJ5MPI	向井七夏	2	1
《21MHz電話の部》				
①	JE5HTN	加藤秀和	744	13
2	JA5ETQ	馬場宗俊	88	6
《50MHz電話の部》				
①	JR5IZI	永合勸	36	3
《144MHz電信の部》				
①	JJ5JTF	横山浩二	187	4
《144MHz電話の部》				
①	JA5LDP	松浦肇	2,499	15
2	JA5AEZ	近藤正晴	1,508	15
3	JH5OJW	堀瀬義明	810	15
《430MHz電信の部》				
①	JA5GDN/5	鶴川健二	440	15
2	JR5GKU	篠原亘	72	6
《430MHz電話の部》				
①	JA5VO	田中崇弘	3,072	15
②	JI5SAO/5	丸山誠	2,624	15
3	JR5PPN	鈴木重香	2,240	15
4	JA5OGX	上枝秀数	2,112	15
5	JA5UJT/5	竹内健治	1,914	15
6	JJ5JCM	市川紀久	1,760	15
7	JJ5LWE	永井誠	1,250	15
8	JF5VHW	福野徹	572	8
9	JG5WUN/5	久保正弘	342	13
10	JJ5HOA	向井利昭	234	4
11	JA5UVT	詫間哲	126	5
12	JH5HTX	大矢根将	2	1

《1.2GHz電話の部》

①	JA5BDZ	山下進	1,200	15
2	JI5LKC/5	木野谷春美	32	4

《2.4GHz電話の部》

①	JI5EDR/5	木野谷稔	108	7
---	----------	------	-----	---

《5.6GHz電話の部》

①	JA5SQH/5	能田博之	2	1
---	----------	------	---	---

《ATVの部》

①	JA5DCM	芥忠雄	15	3
---	--------	-----	----	---

・ログ提出局 58局(ログ等の修正を要した局 29局)

・8日以上局 40局 ・○印は表彰対象局

★オールJA5コンテスト県内入賞者★

2017.7.15~16				
部	門	順位	コールサイン	得点
電信の部	社団	四国1位	JA5YDE	32,382
	マルチバンド	四国1位	JI5XTP	55,352
	3.5MHz	香川1位	JG5JXW	3,392
	7MHz	四国1位	JF3IYW/5	8,955
	14MHz	香川1位	JH5LYW	2,366
電信電話の部	21MHz	香川1位	JA5EXN	99
	社団	四国1位	JR5YEV	25
	マルチバンド	香川1位	JA5CBU	43,086
	3.5MHz	四国1位	JR5PPN	2,584
	7MHz	四国1位	JE5XIC	10,528
430MHz	50MHz	四国1位	JR5IZI	42
	144MHz	香川1位	JA5CUX/5	1
	430MHz	四国1位	JA5UJT/5	408

★四国地方ARDF競技大会★

四国地方 ARDF 競技大会は昨年5月28日に東かがわ市で開催され奈良・三重・和歌山・大阪・広島・福岡・宮崎・四国4県に愛媛から10才の大塚さん、岡本君の参加、JARL副会長種村氏の観戦もあり大いに盛り上がりしました。

ARDF はアマチュア無線免許が無くても参加できます。健康志向の高齢者と地図の読める子に変身したい孫達、おっちゃん、おばちゃん是非トライして下さい。

ARDF のルール変更があり、ビーコンは探査 TX 数に数えませんが、ビーコンチェックしないと失格になります。詳細は下記をご覧ください。

[http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/ardf-handbook\(20170623\).pdf](http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/ardf-handbook(20170623).pdf)

四国地方ARDF競技大会 (2017.5.28 144MHz帯 香川県東かがわ市) 順位、コールサイン、時間、探査個数、県

《W12クラス》		《M21クラス》	
1	JJ5MMK 1:39:51 2 愛	1	中谷 郁夫 1:41:41 5 和
《W35クラス》		2	JI2DKP 1:32:47 4 三
1	JJ5DEW 1:48:08 2 香	3	大塚 光暁 1:35:47 2 愛
《W50クラス》		*	JI6FJQ 1:16:05 5 福
1	鍋島 佐知 1:34:10 2 高	《M40クラス》	
《W60クラス》		1	JF3KRL 1:34:08 5 奈
1	JK6XEY 1:14:03 3 宮	2	JR5PVC 1:37:19 5 徳
2	JI2JAG 1:30:49 3 三	《M50クラス》	
《M12クラス》		1	JG5EUQ 1:32:01 4 香
1	JJ5NBD 0:58:31 2 愛	2	JH4ELJ 1:36:40 3 広
《M15クラス》		*	JE5TDL 1:52:25 0 徳
1	岩城 慈杏 1:34:54 5 奈	《M60クラス》	
2	符阪 宥樹 1:34:22 3 奈	1	JJ4BFO 1:26:41 4 広
3	関 太軌 1:26:27 2 奈	2	JH5LYW 1:29:38 4 香
《M19クラス》		3	JI5BPV 1:31:09 4 徳
1	JP3PLY 1:25:40 5 大	4	JA5ICY 1:32:35 4 愛
2	富岡 亮佑 1:33:16 5 和	5	JA5CPO 1:35:05 4 高
3	中山 英暉 1:40:14 4 和	6	JI5XTP 1:27:13 3 香
4	上野 大輝 1:56:49 2 和	《M70クラス》	
5	富岡 昂平 1:42:02 1 和	1	JA5UVT 1:25:29 4 香
6	寺下 透矢 1:46:57 1 和	*: 探査なし、ビーコンなし	

★ 2017 全日本 ARDF 競技大会 in 徳島 ★

JG5WWD 比嘉 久雄

全日本 ARDF 競技大会が四国にやってきた。

開催に手を挙げたのは熱い思いを持った徳島の ARDFer だ。ここで大会開催までの準備も含めて徳島での大会を皆さまに紹介します。

大会が開催されたのは 2017 年 11 月 4 日(土)・5 日(日)の 2 日間、ビッグひな祭りやみかんの産地として有名な徳島県勝浦町でした。

交通は不便だが全日本に参加する猛者に満足してもらえ場所として徳島のスタッフが選定しただけあり、急こう配あり、電波の反射、TX を探すのに色々なルートがあるので、どのルートがベストか考え込んでしまいそうで地図の読解力を必要とし、尚且つ脚力が必要なトレイン(競技エリア)でした。脚力の無い私はスタッフで良かったと胸をなでおろしました。



徳島で ARDF に参加した経験のある方は少数でしたが彼らが手を挙げ全日本を徳島ですと決め、スタッフ約 60 人を集め競技説明し審判員資格を取ってもらい、町役場・警察・地域自治会等に協力を依頼し開催に至りました。

香川・愛媛・高知の支部長や香川の ARDFer 全員が一丸となりサポートしたのも大きな力になったのではないのでしょうか。

私も現地調査を手伝った 1 人ですが、町内の方に競技説明をすると非常に協力的で労いの言葉だけでなく、勝浦町特産のミカンまで頂きました。当日選手の皆さんにも配られたようです。他にも選手に自宅のトイレを開放して頂いた方もいました。競技後聞いたのですが大会当日は選手にも大きな声援を送ってくれました。地元のご協力、応援は非常に嬉しいです。しんどい時の応援は本当に元気になります。

さて大会ですが、参加者は 2 日共 100 人を超え、全国の小・中・高校生や老若男女、76 才の OM や韓国からの参加者もあり大いに賑わいました。

いつも競技終了後、成績発表して異議申し立ての時間を設けると、表彰状の準備に時間がかかるので中途半端な時間を持て余すのですが、この時間を有効に利用し徳島らしく阿波踊りを地元勝浦町の「やっこ連」と共に選手も踊り楽しいひと時になったのは、最高の思い出になったと思います。



来年開催予定の北海道地方本部関係者は熱心にメモをしていて徳島大会の取組を大いに参考にしたいと思います。来年会えるのを楽しみにお別れしました。

徳島のみなさんを始めスタッフの皆さん御苦労さん。ありがとう！！

県支部からの選手は 3.5MHz部門でM50 JG5EUQ 13 位、144MHz部門ではW35 JJ5DEW 2 位、M50 JG5EUQ 7 位でした。

最後に四国には強者がいっぱいいます。特に香川には REG3(アジア大会)で上位にランキングされる選手が数名います。興味のある方は是非ご連絡下さい。

★ 行 事 及 び 会 計 ★

平成 29 年度 活動報告

29.05.28	四国地方 ARDF 競技大会	(香川県)
29.07.09	支部・クラブ代表者会	
29.09.10	製作技術講習会	
29.12.01	香川マラソンコンテスト	(15日迄)
29.12.10	支部役員会	
30.01.07	コンテスト委員会	
30.02.18	支部役員会	
30.02.15	支部報「JARL香川」54号発行	
30.03.18	ハムフェスティバルin香川	

平成 30 年度 活動計画

30.07.08	支部・クラブ代表者会	
30.09.09	製作技術講習会(予定)	
30.11.11	第1回香川県支部 ARDF 競技大会	(香川県)
30.12.01	香川マラソンコンテスト	(15日迄)
30.12.09	支部役員会	
31.01.13	コンテスト委員会	
31.02.10	支部役員会	
31.02.15	支部報「JARL香川」55号発行	
31.03.24	ハムフェスティバルin香川	

会 計 報 告

平成28年度収支状況 (円)		平成30年度予算 (円)	
前年繰越高	127,491	-	-
収 入		収 入	
地方本部費	256,300	地方本部費	266,000
雑収入	20,000	雑収入	20,000
受取利息	4	-	-
合 計	276,304	合 計	286,000
支 出		支 出	
会議費	16,496	会議費	20,000
催物費	104,899	催物費	110,000
通信費	0	通信費	0
交通費	0	交通費	3,000
消耗品費	0	消耗品費	0
事務印刷費	102,360	事務印刷費	117,000
コンテスト費	23,356	コンテスト費	35,000
賞典費	0	賞典費	1,000
非常通信費	0	非常通信費	0
雑費	0	雑費	0
合 計	247,111	合 計	286,000
繰越高	156,684	-	-

★平成29年度JARL正員歴10年表彰★

平成29年度JARL正員歴が10年に満ちた局は下記のとおりです。

JA5BDZ JA5CQY JA5NZF JA5XUE JH5VWX
 JI5UXL JJ5ELI JJ5EMO JJ5KUO

表彰を希望される方は「ハムフェスティバルin香川」で表彰しますので、事務局までハガキかE-Mailで申込んで下さい。

〒761-8084 高松市一宮町774

渡辺 庄平方 JARL香川県支部事務局

E-Mail jh5gto@md.pikara.ne.jp

編集後記

あちらこちらで見かける赤くなった地上高10数mの枝ぶり立派な庭木？ですが、某OMは家族に「撤去は何時するの」と問われて、「基礎部分に埋蔵金があるので撤去費にしてくれ」と言ったそうです。

開局した1960年代、丁度前回の東京オリンピックの頃はアンテナ製作には竹竿が欠かせないもので、CQ誌にも竹竿を使ったポール、三角柱等の記事が掲載されていました。

その記事を読み竹竿の三角柱のタワー？を建てる為に大八車を借りてとなり町の竹屋さんで鯉のぼり用の竹竿を求めてきましたが、親の反対で頓挫し親の出資でパンザマストを建てる事が出来ました。以来半世紀余り使っていますが、赤くなり自前でローバル塗装をするために錆落としを始めたのですが、僅か10m程の高さでも怖くなり塗装屋さんをお願いしました。

そしてアンテナを新しくして、トランシーバーの更改もしたので『庭木を枯らすことなく』あと30年はハムを楽しみたいと思っています。

(ARW)

みんなの自覚で きれいな電波



四国受信環境クリーン協議会 香川県連絡会

事務局 高松市錦町1丁目12-7
NHK高松放送局内

ICOM

最強のコンパクトHFトランシーバー
IC-7300、好評発売中。



HF+50MHz (SSB/CW/RTTY/AM/FM)
100Wトランシーバー

IC-7300 2 FWH 100W

●IC-7300M (50Wタイプ) 3 FWH 100W

●IC-7300S (10Wタイプ) 4 FWH 100W

希望小売価格：139,800円＋税

詳しくは、アイコムホームページ www.icom.co.jp

RUSE

HFサポートセンター

【電子メール】：ruse@icom.co.jp

【フリーダイヤル】：0120-03-3423

平日/9:00-17:00 (固定電話より掛かください)

アイコム株式会社 四国営業所

〒760-0071 高松市藤原町3-19-43 TEL.087-835-3723

アマチュア無線 営業無線 電子パーツ 家庭電化製品
パーソナルコンピューター オーディオ製品 何でもそろう

(株)電化センター

〒760-0018 高松市天神前4-35 (中央公園南)
TEL 087-862-6077 FAX 087-833-4995

